

各位

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス  
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 朋彦  
 (コード番号 6879)  
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 経営管理管掌 角田 光敏  
 (TEL 03-6741-5742)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,700	1,000	1,000	600	15.24
今回修正予想(B)	25,000	660	720	△160	△4.06
増減額(B-A)	△700	△340	△280	△760	
増減率(%)	△2.7	△34.0	△28.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	23,389	1,407	1,401	980	24.90

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,700	3,100	3,200	2,100	53.34
今回修正予想(B)	52,800	2,800	2,800	1,400	35.56
増減額(B-A)	△1,900	△300	△400	△700	
増減率(%)	△3.5	△9.7	△12.5	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	50,865	2,935	2,980	2,222	56.43

### 修正の理由

当社グループの映像技術サービス事業セグメントの映画分野におきましては、フィルムプリントからデジタルシネマへの移行が加速度的に進んでいることに伴い、デジタルシネマ関連作業の受注案件は大幅に増加している一方で、フィルム関連サービス市場は急激に縮小しております。当社といたしましては、このフィルム関連サービス市場の急激な縮小に対応するため、フィルム関連事業の設備の縮小と、デジタル関連事業への人員のシフトを推進するなど、収益改善・構造改革を図る必要がございます。また、放送事業セグメントにおいては、本年3月に開局した『IMAGICA BS』の視聴料収入が当初の予定を下回る水準で推移しております。

このような状況の下、平成25年3月期第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、前回発表の予想数値を若干下回るものの、ほぼ同水準の数値を確保する見込みであります。営業利益及び経常利益につきましては、上記フィルム関連事業の売上高の減少に伴う粗利益の低下に加え、『IMAGICA BS』に関連した費用が増加したことなどにより、前回発表の予想数値を下回る見込みであります。

また、第2四半期連結累計期間の四半期純利益につきましては、上記フィルム関連事業に伴う固定資産について減損及び除却を行い、特別損失4億63百万円を計上いたしました結果、前回発表の予想数値を大幅に下回る見込みであります。一方、下期は、フィルム関連事業の売上高の落ち込みをデジタルシネマ関連作業の受注増によりカバーすることで粗利益を確保し、また、上記フィルム関連事業の構造改革を実施することで減価償却費を中心とした固定費軽減効果による営業利益・経常利益増を見込んでおりますが、第2四半期連結累計期間の業績予想の状況を踏まえ、上記のとおり平成25年3月期通期業績予想を修正いたします。

なお、当期の配当予想につきましては、前回発表予想(期末:1株当たり15円)から変更はございません。

(注)上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上